

(別紙5)

整理番号 2021P-117
補助事業名 2021年度 障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業
補助事業者名 特定非営利法人日本バリアフリー協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

舞台芸術コンクールへの出場を通して、専門家の評価が得られ、他の演奏や発表機会が増えることで、障がいを持つ音楽家やダンサーの活動支援とする。また、音楽性・完成度の高い作品の観覧を通じて、障がい者の自立の可能性・必要性について一般の人々の啓発とする。もって、障がい者の分野における社会福祉の増進に資する。

(2) 実施内容

第18回ゴールドコンサート

[\(https://gc.npojba.org/partners_report/gc18-report/\)](https://gc.npojba.org/partners_report/gc18-report/)

2021年11月6日(土)東京国際フォーラム ホールCにて第18回ゴールドコンサートを開催。障がいをもつ音楽家やダンサーらが出場する、本格的な舞台芸術コンクール。全国、海外から選抜された8組が出場(新型コロナウイルスの影響で2組が欠場となった)。グランプリ、演奏賞、審査員特別賞、観客賞(観客投票の第1位)を決定した。特別ゲストとしてvivid undress、穴澤雄介(第7回ゴールドコンサートグランプリ)、わたなべちひろ(第13回ゴールドコンサート観客賞)、ゲストとして第17回ゴールドコンサートグランプリのJAHLI、今井友明(車いすラグビー日本代表/東京2020パラリンピック競技大会銅メダリスト)、永野美穂(パラアーチェリー選手/東京2020パラリンピック競技大会日本代表)が出演した。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、客席は前後左右を空けての配置とした。また、会場では消毒や距離を確保などの感染拡大防止対策を行なった。当日はインターネット生配信も実施。



△ 表彰式の写真



△ 集合写真

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

- ゴールドコンサートの受賞者・出場者が、このコンサートをきっかけとして、演奏のみならず、出演依頼や各メディアの取材依頼を受けるなど、音楽活動の場の拡大。(ゴールドコンサートの出場をきっかけに大手メディアに取り上げられたり、タイアップされたりすることによって、音楽関係者の目にとまりCDデビューした出場者もいた。また、東京2020パラリンピック競技大会においては、開閉式や関連番組に出演する出場者が多数いた。)
- 事業の継続をすることで、多くの障がいをもつ音楽家やダンサーの実力が、自分自身・社会に対して証明されるため、自立と社会進出の足掛かりとなる。
- 観客は障がい者が奏でる音楽のレベルの高さに意外性を覚え、障がいに対して関心を持ち、障がい者の「出来る」部分に注目し始める。
- 障がい児や保護者が鑑賞することで、将来について話し合うきっかけになり意識に変化をもたらす。
- ゴールドコンサートの受賞者・出場者の出演依頼やメディア露出の増加により、イベントの知名度が上がり、音楽家やダンサーを目指す障がい者が、本コンサートへの出場を目標とすることが活動の意欲となり、日々努力をすることで将来のステップへのきっかけとなる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

第18回ゴールドコンサート報告書 (DVD付き)



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
なし

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 特定非営利活動法人日本バリアフリー協会
(トクテイヒエイリカツドウホウジンニホンバリアフリーキョウカイ)

住 所 : 〒102-0093
東京都千代田区平河町1-7-16-801

代 表 者 : 代表理事 貝谷 嘉洋 (カイヤ ヨシヒロ)

担 当 者 名 : 高橋 純代 (タカハシ スミヨ)

電 話 番 号 : 03-5215-1485

F A X : 03-5215-1735

E - m a i l : takahashi@npojba.org

U R L : <http://npojba.org/>